

軟式野球部 春季県大会2位！

4月28日（日）から5月4日（土）まで、袖ヶ浦市民球場や青葉の森球場などにおいて、第72回春季千葉県高等学校軟式野球大会が開催されました。今大会で本校は準優勝を収め、2年連続8回目の春季関東大会への出場権を得ました。

春季県大会2位

4月28日（日）一回戦 袖ヶ浦市民球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
筑波大附聴特・ 千葉聾学校連合	0	0	0	0	0	0	2	×	×	2
千葉商大付	1	0	3	4	0	1	×	×	×	9

1回の裏、内野安打で出塁し盗塁ののち送りバントで三塁に進み犠牲フライで1点を先制。3回の裏には長打を中心とした攻撃により3点、さらに4回の裏にも松山と伊藤のランニングホームランなどで4点を収めた。終始安定した試合運びができ、初戦突破となった。投手伊藤、大屋敷、篠原は、打者25人に対して被安打2、与四死球3、奪三振11の成績であった。

5月3日（金）準決勝 青葉の森球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
千葉商大付	3	0	0	1	0	2	0	1	0	7
木更津総合	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3

1回裏にセンター前ヒットで出塁し犠牲バントののち3番打者による長打によって1点を先制。その後も安打により二者生還し1回の表では3点を収めた。4、6、8回でも着実に追加点を重ね、木更津総合に勝利を収めた。この結果、2年連続の関東大会出場権を得た。

投手伊藤、大屋敷、篠原は、打者32人に対して被安打3、与四死球3、奪三振10の成績であった。

5月4日（土）決勝戦 青葉の森球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
千葉商大付	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
拓殖大紅陵	0	0	1	0	1	0	6	0	×	7

3回裏、レフト前ヒットで出塁したランナーが盗塁などで三塁に進み、内野ゴロの間に1点を許す。その後追加点を取られつつも、7回の表に長打によって二塁まで出塁しレフト前ヒットによって1点を収めた。だが7回の裏、相手校にヒットが続出し6点を許したことで1対6で拓大紅陵に負け、準優勝となった。

投手伊藤、山本は、打者42人に対して被安打10、与四死球5、奪三振3の成績であった。

これにより、春季県大会へは2年連続8回目の出場となりました。
熱いご声援、誠にありがとうございました。

以下は今県大会におけるスナップです。



試合前の声出し



筑波大附聴特・千葉聾学校連合のスコアボード



勝利後の校歌演奏中の様子



木更津総合戦のスコアボード



木更津総合戦での整列



拓大紅陵戦での整列



表彰式を終えての記念撮影

春季関東大会

6月1日(土) 一回戦 稲城中央公園野球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
千葉商大付	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
茗溪学園	1	0	1	0	0	0	0	1	×	3

1回の裏、四球で許したランナーを確実に進められ先制を許す。3回にも失点を重ね相手のペースでゲームが進む。しかし、7回の表に初ヒットをチーム一丸となって同点に追いつく。その後も一進一退の攻防が続いたが、8回の裏に勝ち越し点を奪われ惜しくも初戦敗退となった。

投手伊藤は打者36人に対して被安打4、与四死球7、奪三振5の成績であった。

